

# こぶくだより

## 地域で「福祉のまちづくり」



★注目トピックス★

- ・令和3年度ボランティア保険受付ご案内
- ・新しい生活の中でのボランティア活動

**2021**  
**2・3月号**

### ＊ も く じ ＊

- あなたのまちのコボラさん Vol.24・・・P2  
たいよう福祉センター染め物ボランティア
- 東西コーナー講座ご案内・・・P3  
西部：春の絵手紙講座  
東部：感謝のメッセージカードを作って届けよう
- 小平社協の福祉教育(報告)・・・P4
- ボランティア受入れ施設紹介・・・P4  
緑成会デイサービスセンター
- 地域支援コーナー・・・P5  
こだいら生活相談支援センターかわら版
- イベント&ボランティア情報・・・P6
- 新しい生活の中でのボランティア活動・・・P7
- 令和3年度ボランティア保険ご案内・・・P8



春まで  
あと少し  
寒さに負けず  
がんばろう!



染め物ボラさん  
ありがとう

社会福祉法人 小平市社会福祉協議会

地域福祉推進課 こだいらボランティアセンター

〒187-0043 小平市学園東町 1-19-13 小平市福祉会館4階

開所日時 (月)～(金)(第2・4土)《祝日・年末年始を除く》

午前8時30分～午後5時15分

☎ 042-346-1424(直通) FAX 042-341-6220

【ホームページ】 <http://www.syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp/>

東部ボランティアコーナー (月～木 午前9時～午後5時) ☎042-451-6711

西部ボランティアコーナー (月～金 午前9時～午後5時) ☎042-347-7858





# あなたのまちのコボラさん

—地域のために私ができること—

たいよう福祉センター 染め物ボランティア

Vol.24 松田順子さん・森田康子さん・工藤政子さん



たいよう福祉センター（小平市立障害者福祉センター）では、生活介護事業として染め物活動を行っています。毎週月曜日の午前中に染め物に興味のある利用者さんと一緒に活動し、染色工程や作品作りのボランティアをしている松田さん、森田さん、工藤さんにお話を伺いました。（以下敬称略）

—染め物ボランティアというのは、めずらしいと思えますが、具体的にどのような活動ですか。

藍染めやろうけつ染め<sup>※</sup>などの技法で、布や紙やタオルなどを染めます。通所している利用者さんとその日行う染めの作業工程について相談します。そこで決まったことを職員に伝え、生地や染料など必要なものを準備します。活動後は使った道具の洗浄や片付けを行っています。染めた布を段ボールに貼りカラフルな作品に仕立て、都



の作品展や毎年小平市で開催される障がい者作品展に出展し、市内のお店にも展示されます。

—どのようなきっかけでこのボランティアを始めたのですか。

松田：ボランティアアドバイザー講座で、たいよう福祉センターを見学したとき、染め物ボランティアを募集していたことがきっかけです。

森田：私は、ほかのボランティアをしていた先輩の誘いで始めました。

工藤：夏休みの藍染め体験教室に参加できなかったのですが、その後職員から、藍染めや草木染めのボランティアをしてもらえないか、と誘われました。

—皆さん、それぞれのご縁で始められ長年ご協力いただいているのですね。活動をするうえで気をつけていることやモットーなどはありますか。

—一番にはやはり、利用者さんの意思を尊重することです。そして楽しく交流しながら作品作りをするためにいつも笑顔を忘れず明るく過ごしたいと思っています。



—これまでの利用者さんとの交流で印象的だったことはありますか。

松田：今年度は残念ながら行事ができていないのですが、例年行われるセンターまつり・クリスマス会・忘年会への参加、多摩地区で行われるポッチャ大会に応援に行ったことが印象的です。

森田：ふだん交流の少ない利用者さんと共同作業をしたとき、楽しそうにしている様子を見ると、とてもうれしくなります。

工藤：利用者さんが回を重ねるにつれ、活動する意欲がでてくる雰囲気が印象的でした。



染め作業をしている様子

—ご自身が暮らすこの地域でボランティアをする魅力は何でしょうか。

住み慣れた地域で身近な場所だからこそ愛着もあります。無理なく通えるのでコロナ禍でもボランティア活動を続けていけるころだと思えます。

—今後の目標などあればお聞かせください。

松田：一緒に活動していて利用者さんにアドバイスができるように力をつけていきたいと思えます。

森田：自分自身が健康であるように気をつけ、長く活動を続けたいと思えます。

工藤：一緒に作業をしている利用者さんとの会話、コミュニケーションがさらにできるようになることが目標です。

※ろうけつ染めは、模様部分をろうで防染し染色する方法

皆さんが「一緒に作品を作るお手伝いをして、お互いが笑顔になれるというのは素晴らしいことですよ」と話されていたのがとても印象的でした。次はどんな作品が出来るのか楽しみです。





東部・西部ボランティアコーナーでは、地域活動や、ボランティア活動のきっかけ作りとして  
東部講座「ブラッとプラッと」、西部講座「この指とまれ!」を開催しています。

\*ホームページにも掲載しています。感染症の流行状況によっては開催を延期することがあります。

## 西部:3月の『この指とまれ!』



# 春の絵手紙講座



～豊かな時間を一緒に過ごし  
皆さんと交流する楽しさを味わいませんか?～

【と き】 3月16日(火) 午前10時～11時30分

【と ころ】 西部ボランティアコーナー活動室(小川西町5-39-3 ほのぼの館内)

【費 用】 無料 【定 員】 5名(先着順)

【持ち物】 筆ふきタオル

【講 師】 安達 三郎さん(絵手紙、水彩、書道講師、小平美術会会員、絵手紙 橙の会代表)

【申込み】 3月1日(月)から問合せ先へ

【問合せ】 西部ボランティアコーナー ☎042-347-7858  
(祝日を除く月～金曜日 午前9時～午後5時)

技術よりまごころ

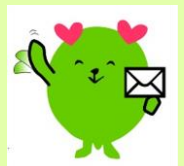
心を込めて描いた作品は

受け取った人に喜ばれることでしょう。

## 東部:3月の『ブラッとプラッと』



# 感謝のメッセージカードを作って届けよう



新型コロナウイルス感染症の流行の中でお仕事をされている医療・福祉従事者の方やエッセンシャルワーカーの皆さんに、感謝と応援のメッセージカードを作りませんか。作ったメッセージカードは、近隣の施設等に東部コーナーからお届けします。

当日参加の難しい希望者(先着20名)には、ご家庭で作って東部コーナーまで届けていただくお持ち帰りキットもご用意しています。



【と き】 3月22日(月) ①午後1時30分～2時15分

②午後2時30分～3時15分 ①か②どちらかにご参加ください。

【と ころ】 さわやか館(花小金井4-21-2 花小金井四丁目アパート2号棟1階)

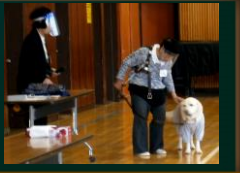
【費 用】 無料 【定 員】 当日参加者6名・持ち帰り希望者20名(どちらも先着順)

【持ち物】 はさみ・のり・筆記具など(新型コロナウイルス感染防止のためできるだけお持ちください。)

【申込み】 3月1日(月)から問合せ先へ



【問合せ】 東部ボランティアコーナー ☎042-451-6711 (祝日を除く月～木曜日 午前9時～午後5時)

## 小平社協の 福祉教育(報告)



本会では、毎年市内小中学校の福祉体験学習に協力しています。コロナ禍での体験となったため、感染防止対策をしっかり行いました。ご協力いただきました団体・福祉施設、当事者の皆さん、本当にありがとうございました。

### 令和2年度実施件数

・高齢疑似体験		3件(3校)
・車いす体験		5件(5校)
・手話体験		8件(8校)
・点字体験		9件(3校)
・知的障がい理解		1件(1校)
・視覚障がい者交流		6件(6校)
・障がい理解のためのスポーツ交流		4件(2校)
		合計36件

★コロナ禍での福祉体験学習では、以下のことに気を付けて実施しております★  
クラスごとの実施/体験内容の変更(密を避ける)/換気/マスク(フェイスシールド)着用/手指消毒/参加者の体温測定

### 《児童の感想》

- ・お年寄りの方からお話を聞くことができ、つらいんだなと思うこともあったが、同時に楽しいこと、面白いと思うこともたくさんある暮らしをしているんだと感じた。(5年生 高齢疑似体験)
- ・実際に体験をしてみると車いすは重かった。バリアフリー化を進めていきたい。(6年生 車いす体験)
- ・見えない人も普通の暮らしをしていて驚いた。指で触れる時計や、音で聞ける時計があることを初めて知った。(4年生 視覚障がい者交流)

## ボランティア 受入れ施設メッセージ

一般財団法人 多摩緑成会

緑成会

デイサービスセンター



### ★こんな施設です

緑成会病院の中に位置されたデイサービスです。介護経験豊富なスタッフのもと、理学療法士などによる専門性の高いリハビリを行っています。季節ごとのイベントやレクリエーション、室内装飾の作成など多彩なプログラムを提供し、利用者の皆さんと楽しいひとときを過ごしています。



### ★依頼しているボランティアは

楽器演奏や手品など、特技を披露してくださる方。書道や折り紙、貼り絵制作など趣味活動のお手伝い。利用者さんとお話する傾聴ボランティアなどが来てくださっています。

小平市内では、多くの施設でボランティアさんが活動しています。その受入れ施設での様子などを尋ねてみました。

小平市の西部にあり、西武国分寺線・拝島線「小川」駅から徒歩2分、JR武蔵野線「新小平」駅から徒歩15分のところにあります。

### ★ボランティア担当者から

ボランティアの方との交流を、利用者さんもスタッフもとても楽しみにしています。

特技の披露や趣味活動のお手伝い、傾聴ボランティア以外のボランティアも募集しています。個人でもグループでも大丈夫です。まずは担当者まで、お気軽にお問合せください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間ボランティアの受け入れを見合わせています。再開した際には、どうぞよろしくお願い致します。



ボランティアさんと一緒に作った作品

【連絡先】小平市小川西町 2-35-1

☎ 042-341-3011 担当者：佐野

# 生活相談支援センターかわら版

## ご存知ですか？『フードドライブ』について

ご家庭や企業、お店などで余った食べ物を、食べ物にお困りの方などの支援のために寄付する活動、それが「フードドライブ」です。生活相談支援センターでは、小平市内で毎年開催される「環境フェスティバル」や「リサイクルキャラバン」等のイベントにおいて、フードドライブ活動を実施しています。お預かりした食品は「子ども食堂」や「生活にお困りの方」にお渡ししています。お歳暮などの頂き物や新型コロナウイルスの影響による外出自粛時に購入したものなど、自宅で眠っている食品があればぜひお寄せください。

また、食品のほか、生活に必要な日用品も募集しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

# ご協力ください！未使用の食品および日用品のご提供

### 対象となる 未使用の食品および日用品

#### 【食品】

お米、レトルト食品、インスタント食品、お菓子  
乾物、缶詰、調味料、飲料（缶・ペットボトル）  
※賞味期限が1か月未満の食品、生鮮食品は、  
お預かりすることができません。

#### 【日用品】

石けん、シャンプー・リンス、洗剤、ティッシュ  
トイレットペーパー、生理用品（オムツ不可）  
※衣類、下着などはお預かりできません。

生活相談支援センターでは、生活にお困りの方や、子ども食堂など非営利の食事提供を行っている団体への寄付を目的に、随時、未使用食品および日用品の提供を受け付けています。

ご家庭で眠っている未使用の食品と日用品がございましたら、ぜひお持ちください。必要としている方に、お渡します！

とくに、お米、乾麺、  
インスタント食品等の  
主食を募集中！！



12月まで3万点以上の  
未使用食品を、市内の子  
ども食堂や生活にお困りの方  
などにお渡しし、利用させ  
ていただきました！

### 皆さんからお預かりした未使用食品の 内訳と使い道

品目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数
お米	91	69	0	21	48	13	0	443	354	1039
調味料	503	125	118	413	123	174	111	159	2	1728
飲料	174	534	250	427	347	355	332	1428	12	3859
レトルト	0	114	2	8	1	0	17	181	1	324
乾物	239	74	37	69	34	175	39	106	0	773
菓子	2766	4733	2375	2423	6278	2781	1923	3145	104	26528
缶詰	37	0	7	30	62	12	8	12	1	169
インスタント	82	84	11	161	105	575	876	74	10	1978
点数(点)	3892	5733	2800	3552	6998	4085	3306	5548	484	36398

令和2年12月23日現在（市民・企業からの寄付）



子ども食堂でキーマカレーに調理して提供



お困りの方へお渡しした食品セット

【記事に関するお問合せ】 こだいら生活相談支援センター ☎ 042-349-0151



# 新しい生活の中でのボランティア活動

◆取材は昨年12月に行いました。いつもボランティア活動へのご協力に感謝しております。

昨年5月25日の緊急事態宣言解除後から、新型コロナウイルス感染症の流行する中、活動を再開したボランティア団体（グループ）が、市内にはたくさんあります。今回はその中から、3つの団体（グループ）の、感染予防対策に取り組み活動している様子をご紹介します。そして今、再びボランティア活動の継続が大変難しい状況です。安心して活動できる日が一日も早く来るように職員一同願っております。

## おもちゃの病院

昨年2月からの新型コロナウイルス流行から4か月は活動を休止していました。再開を待ち望む声にこたえる形で6月末から、おもちゃの病院を再開しました。

活動時には手指消毒、マスク着用、部屋の換気を徹底しています。人と接する時間を短くするために、おもちゃを持参されたお客さんには番号札をお配りし、部屋の外でお待ちいただいています。おもちゃを直すドクターの作業スペースも十分に確保しています。今はできませんが、おもちゃを直す様子を隣で見させていただいたり、お子さんにネジ巻きをやっていたり、そういったことができるようになると思います。



## ほのぼの絵てがみ

昨年の7月から活動を再開しました。検温、手指消毒、アクリル板の設置、換気など注意をはらいながら活動をしています。最近では、近隣の高齢者施設で、感染対策に気をつけながら絵手紙を楽しんでもらう活動も再開しました。

長い時間自粛したからこそ、本当に人とのつながりは大切なのだ痛感しました。自分が元気になるために活動することで、誰かの役にたてるのはうれしいです。今回は施設に届けるお正月用の作品を、施設の方々の喜ぶ顔を思い浮かべながら、作りました。



## はなこタオル帽子クラブ

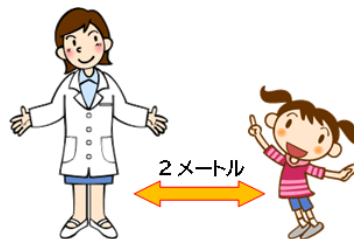
さわやか館の利用が再開された昨年7月から活動を再開しました。

活動中はマスク着用、手指消毒、換気、間隔をとって会話も控えめに活動をしています。また、日頃から人混みに行かないようにし体調管理を心掛けて、皆で安全に活動ができるように気をつけています。活動休止中もタオル帽子を必要とされている方々のことが気になって、家で作っていましたが、一人で黙々と作るより、お互いの顔を見て活動ができる場所があることは本当に楽しみで、うれしいことだと実感しています。



## ♡かからない！うつさない！元気なボランティア活動に向けて♡

活動前と後の手洗い、うがいはしっかりと。帰宅後には顔も洗いましょう。



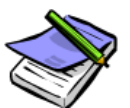
活動中のマスク着用、こまめな手指消毒、ソーシャルディスタンスも忘れずに！



バランスのとれた食事と睡眠も大切。次の活動に備えましょう。



活動中の会食は控え、活動した日時や場所、内容を記録しましょう。





## 2・3月〈ボランティア情報とお知らせ〉

申込み等は、直接それぞれの問合せ先へおねがいいたします。



### ◆イベント◆

#### 福祉会館

##### ◆春休み子ども手話体験教室

(小平市社会福祉協議会

歳末たすけあい地域福祉活動助成事業)

\*手話体験講座です。ろう者(聞こえない人)の指導で手話や聴覚障がいについて学びませんか?今回は、おやつ作りはありません\*

◆と き: 3月21日(日)

午後1時30分~2時30分

◆ところ: 福祉会館3階第1集会室  
(学園東町1-19-13)

◆費用: 100円

◆対象: 小学生以上(小学1・2年生は原則として保護者同伴)

小学生のみの参加は保護者送迎のこと

大人のみの参加も可

◆定員: 15名

◆講師: 小平市聴力障害者協会会員

◆申込み: 3月16日(火)までに電話またはFAXで問合せ先へ(名前・学年・住所・電話番号を記入)親子などで申込みのときは、申込者すべての氏名をご記入ください。

※参加にあたってのお願い

- ・当日検温をしてきてください。
- ・マスクをしてください。
- ・飲み物は各自お持ちください。
- ・当日、具合が悪いときは連絡し欠席してください。申込みいただいた方に事務局携帯の電話番号をお知らせします。

【問合せ】小平手話サークル

☎/FAX 042-345-1708 (担当: 古川)

### ◆ボランティア募集◆

#### 津田町

##### ◆デイサービス にじゅうまる

\*10名までの小規模デイサービスです。地域密着で、利用者さんとスタッフの距離が近く、目の行き届いた介護を提供しています\*

◆と き: 月~土曜日 午前10時~午後4時の間  
でご都合の良い曜日、時間

◆ところ: デイサービス にじゅうまる

◆内容: 歌、傾聴、手芸、書道、楽器演奏、紙芝居、落語などを披露・一緒にして下さる方

◆募集人数: 1~6名



【問合せ】デイサービス にじゅうまる

(津田町1-21-11)

☎ 042-312-3842 (担当: 米田・佐藤)

### ◆お知らせ◆

#### 御幸町



##### ◆ケアタウン小平「ボランティア講座」

##### 2021年2月の開催中止のご案内

\*私たちは、在宅で、利用者・家族の「その人らしさ」を支えるため、ボランティアを含めた多職種チームケア(ホスピスケア)を行っています\*

◆毎年2月に行っております本講座は、新型コロナウイルスによる諸般の事情により中止とさせていただきます。

【問合せ】NPO法人 コミュニティケアリンク東京  
法人事務局(御幸町131-5)

☎ 042-321-5985 (担当: 中川)

※ホームページは「ケアタウン小平 NPO」で検索



『バレンタイン』

イラスト: 荒井 智さん

3月中旬から  
配布・手続き  
開始予定

# 令和3年度ボランティア保険受付のご案内



小平市社会福祉協議会では、ボランティア活動をされる皆さんに、ボランティア活動中の「もしも」のときに備えて、ボランティア保険への加入をお勧めしています。年度内に一度手続きをすれば、その年度中が保険の対象期間になります。ボランティア活動を安心して行えるように3月中のお手続きをお勧めしています。

★4月からボランティア保険の保険料・補償内容が変わります。★

- ・Aプラン(基本コース)の保険料の引き上げ 300円→350円
- ・Aプラン以外の補償金額の変更 (例：Bプラン死亡/後遺障害保険金 2,200万円→1,700万円)



※ほかの補償金額変更の詳細は冊子または窓口でご確認ください。  
※新型コロナウイルス補償は継続します。



写真は R2 年度分

## ☆ボランティア保険は、こんなときに役立ちます☆

- ①ボランティア活動先までの行き帰りに、転倒や衝突事故などでケガをしたとき
- ②ボランティア活動中に、活動先で人にケガをさせてしまったり、物を壊してしまったとき など



【問合せ】 こだいらボランティアセンター ☎042-346-1424

## ☆ 手続き手順 ☆

※必ず新年度(令和3年度)の申込み用紙を使用してください。

①ボランティアセンター(東西ボランティアコーナー)で**専用の振込用紙**を受け取ります。※開所日・開所時間にご注意ください。



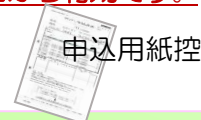
②郵便局にて①の振込用紙で保険料を振り込みます。**振込証明書**を受け取ります。



③②の振込証明書を持って、ボランティアセンター(東西コーナー)に行き、**申込書を記入、提出**します。



④**社協受付印のある控え**を受け取って、手続きは完了です!**保険は4/1または申し込み翌日から有効です。**



こふくだより制作ご協力ありがとうございます。

[点 訳] 点訳サークルかりんの皆さん

[イラスト] 荒井 智さん、出口 祥さん

花小金井南中学校美術部



K・Sさん、中山莉央さん、西多真由さん、  
西田玲音さん、橋本麻理乃さん、  
M・Hさん、W・Rさん、柳葉津実さん、  
伊藤恵麻さん、清水萌木さん

こふくだよりのある市内の施設はこちらです。

### 市内公共施設と病院編

[公共施設] 小平市役所・各公民館・各地域センター・  
各図書館・元気村おがわ東・東部、西部出張所・小平  
市民総合体育館・ルネこだいら・小平市子ども家庭支  
援センターティーンズ相談室ユッカ

[病院] 山之内整形外科・秀眼科

[郵便局] 天神、花小金井5丁目、一橋学園駅前郵便局

## 編集後記

誌面4Pでご紹介している福祉体験学習ですが、ボランティアの皆さんにご尽力いただき、コロナ禍においても実施することができました。誰かの生活に思いを寄せること、知らなかったことを知ること、誰もが住みやすいまちへの大切な一歩だと思います。(O.M)

次号は  
4月1日  
発行です。  
お楽しみに!

